



荒川 泰彦

ユビキタス情報社会で花開くプラスチック・エレクトロニクスのさらなる発展の可能性を探る

## 有機エレクトロニクスの新展開研究会

RC-45

### 1. 代表幹事

荒川泰彦（東京大学 生産技術研究所 教授）

#### 幹事

染谷隆夫（東京大学 工学系研究科 教授）

岩本 敏（東京大学 生産技術研究所 准教授）

北村雅季（神戸大学 大学院工学研究科 准教授）

### 連絡先

荒川泰彦

Tel : 03-5452-6245

e-mail : arakawa@iis.u-tokyo.ac.jp

染谷隆夫

Tel : 03-5841-0411

e-mail : someya@ee.t.u-tokyo.ac.jp

URL : <http://www.ntech.t.u-tokyo.ac.jp/plastic.htm>

## 2. 主旨

有機ELを用いたフルカラーディスプレイが実現され、社会に大きなインパクトを与えています。有機材料の多様性やその優れた特性を考えれば、その高い潜在能力により、さらに新たな応用への展開が期待できます。

そこで、(財)生産技術研究奨励会では、「プラスチック・エレクトロニクスの新展開研究会」特別研究会を平成15年度に発足させ、有機低分子半導体やポリマーを基盤とした次世代におけるエレクトロニクスの応用分野や波及効果を明確化し、新たな産業インパクトを見出すための活動を展開しています。

特に、本研究会では、材料・デバイスの両面に関する最新の研究成果に立脚して、電子ペーパー、電子人工皮膚を含むエリア・センサー、無線タグ、シートコンピューターから光通信モジュールや無公害電池にいたる広範な応用についての可能性を探り、プラスチック・エレクトロニクスの新たな研究展開・産業展開をはかります。さらに、ナノ印刷など最新のナノテクノロジー技術についても議論に取り込み、当該分野へ産業応用する可能性を明らかにしていきます。

## 3. その他

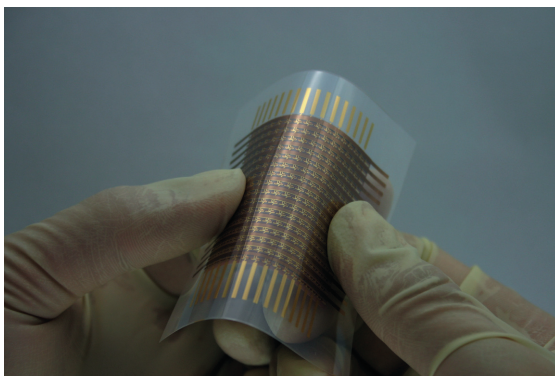
年会費：賛助員の場合（賛助会費一口10万円）：年会費15万円

定員：新規に若干募集。

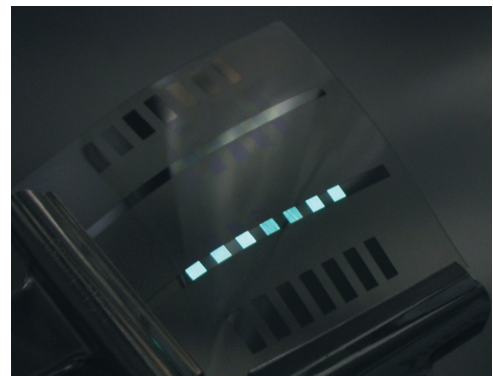
（15年度発足以来、現在の参加企業数は20社を超え、電気、印刷、材料、システムなど広範な業界からご参加頂いております。）

運営方法：年1回程度研究会を開催

（毎回3件程度の講演を行い、それについてじっくり議論を行い、討論を通じて新しい方向性を見出す。会員企業メンバーのみならず、この分野で高い見識を有する大学教授などもアドバイザーとして議論にご参加頂いております。）



有機トランジスタを用いたフレキシブル大面積センサー



プラスチックシートに作製された有機EL素子